

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市市民医療センター運営委員会
開 催 日 時	平成23年8月23日 午後7時30分から 午後8時55分
開 催 場 所	保健センター301会議室
出 席 者 の 氏 名	吉川哲夫、瀬戸裕、小林治、島田和浩、山口直彦、斉藤祐次、 望月英隆、原 繁、佐藤京子、大崎映二、柏谷道正、星清輔、 田中栄治、増田アツミ
欠 席 者 の 氏 名	池内健二
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市市民医療センター改革プランの平成22年度の取組状況の評価について (2) その他
会 議 資 料	所沢市市民医療センター運営委員会次第 諮問書(写) 所沢市市民医療センター改革プラン(資料1) 経営効率化に係る公立病院改革プランの実施状況について(資料2) 改革プラン実施計画達成度評価シート(資料3) 用語解説(資料4) 業務量比較(予算・決算)(参考データ1) 年度別・月別利用状況(入院・外来・健康診断) (参考データ2) 年度別・月別利用状況(健康検診部門)(参考データ3) 評価者用シート 年度別職員数(年度末)／職員年齢・経験年数

<p>担 当 部 課 名</p>	<p>センター長 山本幸一 医務部長 野口友之 小児科担当理事 藤塚聡 事務部長 小笠原彰 事務部総務担当参事 吉野匡子 事務部総務課主幹 森影和幸 事務部総務課主幹 小峯英夫 事務部総務課主査 長沢勢以 事務部総務課主査 田井浩介 市民医療センター事務部総務課 電話04-2992-1151</p>
------------------	---

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>（市長及び会長から挨拶がある。続いて市長より会長へ諮問を行う。配布資料の確認後審議に入る。）</p> <p>これより所沢市市民医療センター運営委員会を開催いたします。最初に、この会議の公開についてと会議録の記載方法及び署名について事務局より説明をお願いいたします。</p>
総務課主幹	<p>会議に先立ち皆様にご報告がございます。所沢市市民医療センター運営委員会条例第 6 条第 2 項より「委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。」とされておりまして、本日は委員 15 名中 14 名が出席されておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、1 点目の当会議の「公開、非公開」についてですが、所沢市情報公開条例第 25 条により審議会等の会議は原則として公開するものとなっております。つきましては、第 1 回の運営委員会の際にご承認いただきましたとおり、公開とさせていただきたいと考えております。</p> <p>次に会議録の記載方法ですが、会議録の記載方法は要約方式、すなわち、「ご発言の要旨を記録する方法」とし、委員の方のお名前を伏せた形で公開させていただきたいと考えております。また、会議録への署名につきましては会長一人とさせていただきたいと考えております。</p>
会長	<p>事務局から説明がありましたとおり、会議は「公開」ということで行い、審議の経過で、公開することにより、著しい支障が生じると想定される場合には、改めてお諮りすることといたします。</p> <p>次に、会議録の記載方法及び署名について事務局から説明のとおり前回と同様にさせていただきたいと思っております。</p>
委員一同	<p>（異議なし）</p>
会長	<p>特にご意見がないようですので、事務局から提案どおりとさせていただきます。</p>

総務課主幹	<p>本日の運営委員会は公開となります。傍聴の方はいらっしゃいませんが、後でいらっしゃいましたら、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、これより次第に基づき議事に入ります。 まず、事務局から議題1について説明をお願いいたします。</p>
総務担当参事	<p>それでは、資料の説明に入ります前に、この運営会議を開催する根拠ですが、これは、資料1の「市民医療センター改革プラン」の12ページ、8「改革プランの進行管理、評価及び公表」の項によりまして、市内部の評価組織による評価を経て、運営委員会の評価をいただき公表をすることになっておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>(資料の説明を行う)</p>
会長	<p>ただ今、事務局から議題1「所沢市市民医療センター改革プランの平成22年度の取組状況の評価」について説明がありましたが、何かご質問等がありますか。</p>
委員	<p>今度、28日までに評価結果を返信して31日で答申するということですが、現状では委員の多くもおそらく評価するにあたって、この庁内評価委員会の出した評価シートを見て評価せざるをえないのかと思いますが、それ以外にその情報を入手する方法というのはあるのでしょうか。全部の項目を詳しく見る必要はないと思いますが、疑問に思った場合に、実際にはどうなのかを聞く手段はありますか。</p>
総務担当参事	<p>本日お示ししました資料以外に必要なデータや情報があれば、事務局にご連絡いただければ、全員の方にその情報はお流しします。</p>
委員	<p>庁内評価委員会にはどなたが参加しているのですか。</p>
総務担当参事	<p>本庁の関係部署の次長級の職員です。</p>
委員	<p>皆さんの中でこの庁内評価委員会と違う評価をされていますか。例えば2を3と知っているとか、事務局として評価が違っている</p>

	<p>所があったらお伺いしたい。</p>
事務部長	<p>議論があるなかで、ご質問いただいて、少し違うという所があれば、捕捉説明をさせていただく様な形で評価委員会を行いましたので、違うという部分は特にありません。</p>
委員	<p>そうすると、事務局と評価委員会は全く同じということですか。</p>
事務部長	<p>逆に評価を良くしていただいた部分はあると思います。</p>
委員	<p>前もって資料はいただいていたのですが、事務局から何かアドバイスがあるかと思っていたが。</p>
事務部長	<p>医療センターとしての内部評価、達成度も入れましてそれを資料として庁内評価委員会に出しましたので、庁内評価委員会の方も、こちらの評価を汲みながら評価ができているのではないかと思います。</p>
委員	<p>大体わかりました。</p>
会長	<p>普通の私立病院は、人件費は60%超えたら潰れます。ですから人件費率の適切な検討を行った結果が、内部評価3になっているが、外から見ると全く納得できない。</p> <p>公的な役割をこの事業で担っているという部分と、収益性を求める部分とがあり、医療センターは公益的なものがあるのでそういう人件費率で許されるのですが、普通の病院だと、人件費率60%だと潰れるので、こういう数字はありえない。改革ということを旗印に掲げるのであれば、この人件費率を下げる努力をしないとだめという事になる。</p> <p>今日、表を出していただけていますが、職員の内訳についても、委員の皆様意見をぜひ聞いて、率直な意見を出していただいた方が、より改革につながると思います。</p> <p>庁内評価委員会の評価はあくまで庁内の考えなので、皆様一般の市民の目から見た評価がすごく大事になる。</p> <p>今日から金曜日まで3日間ぜひ検討していただきたいと思いま</p>

	す。
委員	追加資料で出された年度別職員数（事務員）は17名となっていますが、これは正職員の数ですか、その他に臨時職員はいますか。
総務担当参事	全てここでお示した人数は正職員で、医務部と事務部とも臨時職員はいます。
委員	事務関係の臨時職員は何人いますか。
総務担当参事	1日の勤務を午前、午後に分けて8人です。それから医療ソーシャルワーカーを加えて9人になります。
委員	医師の方にお伺いしたいが、専門職の医師とか看護師の方が、少なければ医療行為というのは当然少なくなって行くわけで、そういう意味からするとこれだけの専門職を抱えた医療機関として、事務系の職員が多いか少ないかというのは、一般的な病院の場合一概には言えないと思いますが、どうなのでしょう。
会長	多いと思います。
事務部長	臨時職員の関係ですが、健診部門（人間ドック部門）に6人担当しています。人間ドックのいろいろな書類の発送等です。
委員	<p>会長の個人的な意見に対する反論ですが、平成21年に改革プランを作ってそのときに事務職員が多すぎるから、数年計画で減らすことがプランに載せられて、しかし事務職員が、相変わらず多いというのであれば、先ほど会長がおっしゃった意見が正しいと思う。</p> <p>ただ、平成21年度に作った改革プランでは事務職員をここまで減らさなくてはいけないという具体的な数値が上がっていないのであれば、例えば職員給与比率が60%を大幅に超えていたとしても、それは評価が全くよくないという事にはならないと思う。</p> <p>つまり、この改革プランに添って計画通り行われているかどうかをこの委員会では評価するのではないかと思います。</p>
会長	でも、なぜそうなのかを問題にしないと先に進まないと思いま

委員	<p>す。努力は認めるが、努力するだけでいいのか、問題が解決しなければ、報われない。</p> <p>医師の確保についてはこの運営委員会なりこの病院のスタッフなりいくら努力しても解決できない部分であり、つまり、市場における需要と供給の問題があります。医師の確保ができるだけの給与体系を所沢市がとっているのか、議会に働きかけた事があるのかお聞かせ願いたい。</p>
委員	<p>人口あたりに対する埼玉県、所沢市は非常に数が少ない実情があると思います。</p>
委員	<p>ですから、なおさら給与体系を上げないと医師は来ないのではないですか。</p>
委員	<p>市民医療センターの医療職の給与はどのように決められているのか。他の同規模の市町村と同じ体系となっているのか、それとも高いのか。</p> <p>本当に低いのであれば考えなくてはいけないが、常勤の医師というのはもちろん給与の事は大切だが、給与以外にも例えば、重労働である所には若い人は来ない等、複雑な事がからんでいる。もちろん相場並みには上げる必要はあるが、簡単なお金だけの話ではないと思う。</p>
事務部長	<p>給与に関しては、他の自治体、病院と比べても決して低いという事はないと思います。手当等についても職員課と交渉してアップしたが、研修についても努力しています。他市の自治体病院を見ても、医師の確保のために派遣会社にあたって医師を招聘している公立病院もありますので、今年度についてはより具体的に動いています。医師の招聘については医療センターとしてもできる限りの努力はしています。</p>
センター長	<p>確かに、医療センター自体は、規模が小さい事もあり、医師の数は少ない。給与面だけでなく全体的な環境を考えると、募集しても来ないというのが現状です。実際、川口市やさいたま市は、医師の数も多いし、研修指定病院が若い医師を採用しており、給与も年齢</p>

委員	<p>が若いため安くなっている。</p> <p>医師の給与も給与表に基づいた年齢給ですから、年齢が高ければそれだけ人件費も高くなりますし、ある自治体の医師の年齢が低ければ、同人数でも所沢は高いということになる。給与が他市に比べ高いかどうかは給与表で同じ年齢、同じ経験年数で比べた場合、所沢市は決して低い事はないということですね。</p>
委員	<p>医師が採用できないという理由は、具体的にどういう理由が考えられますか。</p>
小児科担当理事	<p>やはり給与も大切ですが、それ以外にやりがい、スキルアップができるか等総合的な判断で決めると思います。</p> <p>給与は確かに他市に比べ遜色ない。スキルアップはどうか、他の公立病院と比べると悪い。また、小児科は月に7回～8回当直をやっていますが、8回も当直をやる若い人はいない。</p> <p>研修制度を作って例えば防衛医大にお願いして、スキルアップできるシステムができるとか、当直体制等労務管理の充実等を総合的に行わないと医師確保はできないと思います。</p>
委員	<p>経験年数の所で、平均して医師も看護師もずいぶん長い勤続年数という感想を持ちまして、ここで頑張ってやってくださっていると思いました。比較的どこの病院でも変わりが早いですが、それに比べたらこの経験年数の長さはどういう風に見たらいいのでしょうか。看護職にしても長いのですが、こんなに長い所は他にないと思います。</p>
総務担当参事	<p>本日お配りしました追加資料の下の部分ですが、おそらく委員がおっしゃったのは、いちばん右側の平均経験年数の所と思いますが、こちらは医療センターに在職した年数ではなく、医師になってからの平均年数です。医療センターに来てからの平均ではありません。医師は長い方は11年位で、短い方は3年です。</p>
委員	<p>追加資料の確認をしたいのですが、年度別職員数の平成23年度(当初)は評価には含まれないということによろしいでしょうか。</p> <p>というのは、職員数が2名減っているがこれは含まれないという</p>

<p>総務担当参事</p>	<p>ことですね。</p> <p>実際には、健診部門の委託を平成22年度に行った結果として、平成23年度に減ったという見方もありますが、実際に減ったのは平成23年度ですので含まれません。</p>
<p>委員</p>	<p>評価シートの1ページの「地域連携部門の強化を図る」の目標の所で、「医療ソーシャルワーカーを採用する」で、これが達成したわけですね、平成22年度で結果的に。それなのに、2ページの⑥で目標がやはりソーシャルワーカーを採用するとなっており、達成度が2となっているが、3ではなくてどうして2なのか。</p>
<p>総務担当参事</p>	<p>ちょうど中央のあたりに人数や配置、今後の採用要領を検討するとありますが、医療ソーシャルワーカーは確かに採用しました。しかし、委託できる部分で、もっと臨時職員や職員が減らせるのではないか、というところの更なる検討を進めるという意味で、2となりました。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢市長の医療に関するマニフェストが「小児医療センターを開設し、24時間小児救急医療体制を整備すること」というのがまずあります。これが大前提とすると、1人小児科医を確保することを実現しないと、マニフェストが完了しない事になります。</p> <p>シートの目標を見ると並列的になっているが、実はかなり重要な項目と比較的重要でない項目があり、かなり重要な項目が、目標を達成した数が下になっていて、あまり重要でない項目が達成したになっている。</p> <p>本来のマニフェストからするといちばん大切な所が実現しないという事になるので、それについての物事の重要性の大小が表で現れるような形にしていきたい。</p> <p>どの目標も並列的に重要性があるように見える。</p>
<p>委員</p>	<p>小児科医は、本当に少なく大変です。かなり思い切った事をしないと若い方は来ないと思います。</p> <p>例えば人事権等もセンター長に持って行くとか、若い医師が来たときに成育医療研究センター等へ半年位の国内留学のシステムを作る等、やりがいがあるような待遇、伸びて行くと思われる医療資</p>

	<p>源にどんどん投下していかないとその所に人は集まって来ない。</p> <p>待遇のいい勉強できる所に若い医師は行ってしまう。研修システムが変わってしまい、もう大学の医局で動いているのではなくってきている。なかなか難しい状況です。</p>
委員	<p>つまり思い切った事をしないといけないということを平成22年度に入れなければいけなかったわけですね。</p>
委員	<p>実際には、若い人の本当の事情はわかりませんが、最後に結果としてできなかったかということで、本当に難しいという事です。</p>
委員	<p>今日の会議は平成21年度に決めた平成22年度の目標が達成されたかの評価をするのが趣旨です。今議論になっているのは、例えば人件費を改善して行くとか、小児科医を増やしていくとか、そういう話になっていますが、趣旨から外れていると思います。</p> <p>今おっしゃったような事を目標にするのであれば、今後改革プランを作る際には、きちんとした目標の人数を書くようなプランを作らないといけない。先ほど会長に反対だと申し上げたのは、平成21年10月に作った改革プランの表ですが、16ページの表に市民医療センターの職員数計画表というのがあります。平成22年度は職員数が全体で88名のはずが、実際には平成22年度末は80名だったとなると、医師の数が足りなかったのと、看護師の募集が思うようにいかなかったのが多少影響していると思うが、事務職員も16人に減っていますので、けっこう達成していると思います。</p>
会長	<p>あくまでも平成22年度のものについての評価という事ですね。</p>
委員	<p>それから、公的な機関の病院にいる立場の者から発言させていただくと、市民医療センターの事務職員の数が多いという会長の意見に対して、一般的な市中病院の感覚からするとその通りですが、市民医療センターに関しては、こういう委員会に対応する職員や議会等の資料作成等も必要になると思うし、一般的な医療機関とは違った面での事務職員の必要性がある。役所のいろいろと必要な仕事をしなくてはならない人がいるので、それは勘案しないといけないと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>(評価シートの1ページ①に)医療センターの地域完結型医療を担うという連携的な目標というのが出ていますが、病診連携や在宅等の内科的な部門と小児の救急医療と人間ドックという健診部門とそれぞれ連携する部分が違うと思います。</p> <p>例えば健診部門は所沢市民だけでなく、いろいろな保険者等も含めて幅広い所で連携を考えていると思います。小児医療救急は所沢全地域の子供たちの救急医療を担うという所沢市内の中心的な役割を担う。しかし内科の外来というのは、所沢市内全域を担うような目的がこの医療センターに感じられません。</p> <p>内科が市の中核を担うのか、近隣の住民が対象になっているのかを知りたい。また、地域包括との連携について、14の地域包括があり、全部と連携するのか、この近辺の地域包括に特化して連携するのか伺いたい。</p>
<p>センター長</p>	<p>内科に関しては、外来は松井地区の患者さんが多いと思います。病棟については、どちらかというと、在宅医療の患者さんの急性疾患の時に、広く所沢全体の在宅医療に携わる医師との連携を考えており、その点では市全域と考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>それを考えると、達成度は今3になっているが、そこまではまだ達成できていない、平成21年に立てた目標は達成して3になっているが、医療センターは目指しているが、最終的にはまだ達成できていないのか、それとも、もうそこまで来ているのか。</p> <p>このシートでも右の端にはどう取り組むかというのがありますが、最初に立てた課題に対しては達成しているが、医療センターとしてはもう少し上を見て行くというふうに考えているのですか。</p>
<p>事務部長</p>	<p>この計画は、最終的には平成23年度までが改善計画で、今回お願いしているのが、平成22年度の目標に対して、どれだけ取組が出来たかを評価し、目標は達成したので3となっています。</p>
<p>委員</p>	<p>評価シートの6ページいちばん上の所に小児科専門外来の充実を検討するという項目について、評価委員のコメントにもありますが、ここにある小児専門外来とはどういうイメージですか。普通の小児科でなく何を行おうとしているのか。</p>

センター長	<p>小児内科になるが、小児の中でも例えば循環器、消化器というように分かれて行きます。</p>
委員	<p>医師が専門資格を持っていれば、標榜する事は有ると思うが、どのように努力するということなのか。専門資格を取るという意味なのか。</p>
小児科担当理事	<p>私は糖尿病専門医ですが、今優先させているのが小児初期救急体制のため、専門外来を行う事はそれと相反する事であり、1人では無理な事になる。もともとは、防衛医大とか西埼玉中央病院とか他の専門外来で欠けている専門があったら、その医師を招聘し出来るかというのが最初の目標であったと思います。1人では難しいのと、専門医の資格を取れるような内部的な制度を作らないと難しいと思います。</p>
委員	<p>そうすると、優先順位を考えてやっているのにこの評価2というのは、ある意味不本意ではないのか。</p>
小児科担当理事	<p>私としては、今いる人材の中で、もちろん抱えているのでやらないと評価が落ちるのは仕方がないが、それをやれと言われてもなかなか難しい。</p>
会長	<p>他にご意見はございませんか。それでは、委員の皆様から貴重な意見をいただきましたが、議題の1については終わりにしまして、今日の議論を踏まえ次回運営委員会で意見を集約して行きたいと思えます。</p> <p>次に議題2のその他について、事務局から何かありますか。</p>
総務課主幹	<p>その他につきましては、特にございませんが、次回の日程につきましては、8月31日（水）の午後7時30分にこの場所で予定しております。先ほど議事の中でご説明をさせていただきましたが、配布資料にあります評価者シートにご記入後電子メール又はファクシミリで事務局へ28日（日）までに返信をお願いいたします。</p> <p>返信いただきました評価は、昨年と同様に達成度評価とコメントを項目ごとにまとめて次回の31日の会議資料として配布させて</p>

	<p>いただき、これを基に委員会としての達成度評価とコメントを審議いただければと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>次回の日程、評価についてはよろしく願いいたします。 それでは、事務局にお返しします。</p>
<p>総務課主幹</p>	<p>それでは、閉会のごあいさつを会長代理にお願いします。</p>
<p>会長代理</p>	<p>皆様長い時間にわたりご検討いただきありがとうございます。この評価につきましては、31日に最終的な結果として答申する予定になっておりますので、28日までに評価をされて提出していただきたいと思ひます。皆さんがご検討いただいた結果で評価の上下は有ると思ひますが、よろしく願いいたします。</p>
<p>総務課主幹</p>	<p>以上を持ちまして、閉会とさせていただきます。皆様、大変お忙しい中、ありがとうございました。</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>